

対象国の条件 : 中南米地域の災害多発国

研修コース番号 : 201984419-J002

案件番号 : 201984419

主分野課題 : 保健医療/その他保健医療

副分野課題 :

使用言語 : 西語

案件概要

本研修は、中南米地域の各国における災害発生時の行政と医療機関のマネージメント体制整備の促進に資するとともに、同地域の域内協力、ネットワーク作りを支援することを目的としている。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 中央政府及び地方自治体における災害医療担当行政官や災害医療従事者が、中南米地域の各国において、行政と医療機関での災害医療体制の整備を促進できるようになる。</p> <p>【成果】 単元目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自国・地域の防災対策改善のための課題を理解する。 2. 自国・地域の災害医療体制改善と整備のための課題を理解する。 3. 災害発生時の救急医療体制整備のための課題を理解する。 4. 災害種に応じた災害医療体制整備のための課題を理解する。 5. 自国・地域の効果的かつ円滑に稼働し得る災害医療体制を構築するアクションプランを作成・提案できる。 	<p>【対象組織】 保健省、国立病院等、災害医療に携わる機関、防災担当省庁</p> <p>【対象人材】 ＜職位＞ 中央政府及び地方自治体における災害医療担当行政官あるいは緊急医療施設における医師・看護師・救急救命士等の災害医療従事者 大学卒業又は同程度の学力を有し、災害医療分野での実務経験が3年以上ある者</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>” 【事前活動】 担当地域における災害概要や所属組織・担当地域における災害対応状況、災害医療コーディネーションの問題点等を記載したジョブレポートを作成する。（可能であれば、本研修の帰国研修員との連絡・協議）</p> <p>【本邦活動】 上記の各成果に対して以下の項目について講義・演習・見学等を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の災害医療体制の仕組み、現状と課題 2. 災害医療支援チーム（DMAT）の養成訓練 3. 日本の様々な自然災害における経験とこれに対応する体制の整備 4. アクションプラン作成 <p>【事後活動】 日本で学んだことを自国の組織内で共有し、帰国後6ヶ月後を目途にアクションプランの実施状況をJICAに報告する。 ”</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/10/14～2019/11/30</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>人間開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA関西（業務一）</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2019～2021</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>調整中</p>	
<p>特記事項及びホームページ</p>		